

平成29年度東京都立若葉総合高等学校経営報告

東京都立若葉総合高等学校長

根本 浩太郎

1 今年度の教育活動及び重点目標への取組と自己評価、今後の課題と対応策

(1) 学校運営【B】

- ① 昨年度に引き続き分掌等組織のマネジメントサイクル（PDCA）年間3回の報告(各学期末)により、成果と課題を情報共有し効果的な進行管理と学校運営に努め、学校評価アンケートにおける保護者の学校満足度は90.97%を得た。
- ② 教員相互の授業参観を年2回以上実施し組織的な授業力向上を図るとともに、初任者教員に対して、教科指導のみならず分掌業務に関する初任者等若手教員学習会を6回以上実施し主幹教諭や主任教諭の経験を生かした職場内OJTを推進した。また、総合学科教育のより一層の充実を図るため、第22回全国高等学校総合学科教育研究大会に3名、第18回関東地区高等学校総合学科教育研究大会に1名、平成29年度東京都高等学校総合学科教育研究協議会及び教育活動成果発表会に8名参加するなど、総合学科関係研究会への教員参加人数は延べ12名となった。
- ③ 本校を会場とする稲城市立中学校PTA主催の都立高校合同説明会の企画立案のため、本校や稲城市立中学校で地域連携推進会議を3回行い、当該説明会を本校会場に7月に実施した。また、本校生徒が来客者の受付・誘導・案内や学校紹介を担うなど地域貢献及び奉仕体験活動に寄与した。次年度以降も継続して本校を会場とし当該説明会を実施することが課題である。
- ④ 外部講師等を招聘し、スポーツに取り組む姿勢や体づくりのためのマッサージ講習やテーピング講習などを実施し、オリンピック・パラリンピック教育を推進した。

(2) 学習指導【B】

- ① 年間を通して、モーニングワーク（朝学習）により生徒に学習習慣を身に付けさせる環境づくりに努めた。また、授業内容とオンライン学習サービス利用を関連付け、基礎学力の定着を図り、放課後等の自習や教科外の学習及びオンライン学習サービス利用を推進した。また、到達度テストの分析を受け、英語や数学などの授業では、生徒の苦手克服に向けた教材の提供などを行うことができた。
- ② 長期休業日中の講習については、年間40講座547時間を計画的に実施し、生徒への学習指導の強化に努めた。日常的な個別指導を充実させるため自習室の効果的な活用を図ることが課題である。
- ③ 図書貸し出し数は3565冊となり、モーニングワーク（朝学習）として読書週間や長期休業日中の読書強化月間を設け、読書に係る課題などを通して生徒の言語能力の向上を図った。また、各種の検定試験（漢字検定、英語検定）等の取組を通して、学習指導との相乗効果を図った。漢字検定【準2級以上】は29名受検し合格者14名、英語検定【準2級以上】は17名受検し合格者5名、GTEC等受検者は3名、パソコン検定【3級以上】は13名受検し合格者9名、日本語ワープロ検定【3級以上】は16名受検し合格者13名、簿記検定【3級以上】は8名受検し合格者6名であった。なお、

今年度は、色彩検定【3級】が2名受験し合格者2名、グラフィックデザイン検定【3級】6名受験し合格者6名、基礎製図検定を2名受験し合格者2名など、新たな資格取得にも挑戦した。引き続き、各種検定等受検者の更なる増加が課題である。

(3) 生活指導【C】

- ① 各学期の始業式・終業式、年度末の修了式、定期考査期間、月間の登校前指導（立ち番）などで年間の指導日を設定し、遅刻・化粧・スカート丈・頭髮・服装・装飾品等の指導の強化・徹底を図り、規範意識の醸成、規律やマナーの遵守、挨拶等の指導を実施した。全教員による日々の声掛け指導の徹底を図ることが課題である。
- ② 遅刻者数については、月5回以上の遅刻生徒の割合が5%（目標値3%以下）となった。よりきめ細かい遅刻防止指導に向け、生活指導部と学年との連携による効果的な遅刻防止に向けた指導体制の構築が課題である。
- ③ 学年集会は各学年で適宜実施し、授業規律や生活マナー等の規範意識の醸成、道徳心と道徳的実践力の育成を図る活動を実施した。全校集会や学年集会での指導内容について、本校の育てたい生徒像との関連性をもたせ、全教員と共有を図ることが課題である。
- ④ 特別指導については3件発生した。内1件はSNSを使用した他者への誹謗・中傷などによる人間関係のトラブルに起因するものであった。引き続き、インターネット環境の適切な利用、対人関係における直接的なコミュニケーション能力の向上に関する指導の更なる強化が課題である。

(4) 進路指導【B】

- ① 今年度の進路決定率は3月末時点で94.8%（目標値90%以上）、進路指導満足度は78%（目標値90%以上）であった。指定校推薦・一般公募推薦・AO入試・一般受験等様々な受験形態に対応した指導の更なる充実が課題である。
- ② 学年との連携による進路指導については、進路指導部が中心となって組織的に推進できたが、進路決定者情報や未決定者に対する指導等についての円滑な情報共有を図ることも今後の課題である。
- ③ 「産業社会と人間」や「総合的な学習の時間（マイプロジェクト）」の実施により、学習・生活・進路の3領域について、計画的・継続的なキャリア教育を推進することができた。（1年次「マイライフプラン発表会」3月実施、2年次「マイプロジェクトI 中間発表会」2月実施、3年次「マイプロジェクトII 発表会」12月実施。）
- ④ 2年次生徒を対象としたインターンシップ（就業体験）や職場体験などの体験活動を3月に実施した。引き続き多くの生徒に対してこれらの学びの機会を増やし、職業観、勤労観、自己理解を深めさせる指導を推進することが課題である。

(5) 特別活動・部活動【C】

- ① 体育祭実行委員会を中心として、運動系部活動所属生徒が主体的に運営する体育祭を6月に実施した。9月に実施した文化祭については、当日の荒天の影響もあり来場者数は2423名となり、昨年度来場者数を下回ったが、教員用マニュアルを整備し、一部負担軽減を図るため会計制度や生徒の係分担の変更など、文化祭実行委員会を中心とした運営を推進した。学校行事の更なる活性化と質の向上に向けた工夫及び改善を図ることが課題である。
- ② 美術部と映画制作部が第42回全国高等学校総合文化祭大会東京都代表となり、陸上競技部は全国高等学校総合体育大会（インターハイ）「はばたけ世界へ南東北総体2017」に出場し、関東大会出場

レベル部活動は、3部（目標値2部）となり目標を上回った。しかしながら、部活動加入率は、80%と目標の85%以上を下回った。部活動の参加率の一層の向上と活動内容の質の向上に努めることが課題である。

- ③ 東京都教育委員会指定「スポーツ特別強化校」部活動（陸上競技部、ソフトボール部）については、次年度10月で指定期間が終了する。部活動のみならず生徒全体の体力・運動能力向上を図ることが課題である。

(6) 安全・健康指導【B】

- ① セーフティ教室（年3回）、薬物乱用防止教室（7月）、ネット被害防止指導（通信関連企業による講話5月）、スクエアドストレートによる交通安全教室（11月）、1年次対象の一泊二日の宿泊防災訓練（9月）、年4回の避難訓練等の防災教育、オリンピック・パラリンピック教育に関連付けた講習（3月）をそれぞれ実施し、生徒の安全と健康、防災に対する意識を高めることに努めた。生徒の登下校中の交通事故防止に向け、交通法規等の遵守と交通マナーの向上を図り、自他の生命を尊重させる指導を引き続き推進することが課題である。また、生徒の体力向上については、「統一体力テスト」の結果を踏まえ、生徒の発達段階に応じた基礎体力づくりを引き続き推進することが課題である。

(7) 募集・広報活動【B】

- ① 今年度から学校見学会・説明会の予約申し込みみに都の電子予約システムを新たに導入し、学校見学会・学校説明会・個別相談会の参加者数は、2462名、文化祭来場者数は、2423名、中学校・学習塾への学校説明訪問数は、81校、ホームページ更新回数は、300回、都立高校進学希望者数が減少するなか、推薦に基づく入学選抜応募倍率は、2.19倍、学力に基づく入学選抜応募倍率は、1.29倍と、私立高校入学のための国や都の保護者向け助成金等の影響もあり昨年度を下回る結果となったが、応募者を一定数確保することができた。教務部を中心として経営企画室との連携を図りながら、ホームページの更なる内容の充実を図ることが課題である。

(8) 施設設備管理・経営企画室運営【B】

- ① グラウンド改修工事（芝生化）が完了し、運動施設の充実が図られた。
 ② 自律経営推進予算の執行状況について、第3四半期予算執行率は90%、一般需用費のセンター執行率は50%となり、目標値を超える結果となった。

2 数値目標に対する実績と自己評価

(1) 学校運営

項目	平成29年度目標値	平成29年度実績
保護者の学校満足度	90%以上	90.97%
総合学科関係研究会への教員参加	10名以上	13名
初任者等若手教員学習会の実施	6回以上	6回
教員相互の授業参観	2回以上	2回

(2) 学習指導

項目	平成29年度目標値	平成29年度実績
生徒の授業満足度	必履修科目75%以上 選択科目90%以上	必履修科目 71% 選択科目(総合・自由) 87%
長期休業日における講習	50講座・500時間以上	40講座・547時間
図書貸し出し数	3000冊以上	3460冊

各種検定の合格者数

検定名称・級等	平成29年度目標値	平成29年度実績
漢字検定【準2級以上】	10名以上	準2級以上 14名/29名 3級以上含 17名/33名
GTEC等受検者	5名以上	GTEC受検者 3名
英語検定【準2級以上】	10名以上	準2級以上 5名/17名 3級以上含 7名/20名
パソコン検定【3級以上】	10名以上	3級以上 9名/13名 内 準2級 8名/12名
日本語ワープロ検定【3級以上】	10名以上	3級以上 13名/16名 内 準2級 2名/4名 2級 3名/4名 準1級 1名/1名
簿記検定【3級以上】	5名以上	全国経理教育協会主催2級 5名/7名 日本商工会議所主催3級 1名/1名

その他の各種検定の合格者数

検定名称・級等	平成29年度目標値	平成29年度実績(合格/受験)
色彩検定(3級)	—	2名/2名
グラフィックデザイン検定(3級)	—	6名/6名
基礎製図検定	—	2名/3名

(3) 生活指導・特別活動・部活動

項目	平成29年度目標値	平成29年度実績
遅刻生徒数	3%以下	5%
特別指導対象件数	5件以下	3件
部活動加入率	85%以上	80%
関東大会出場レベル部活動	2部以上	3部(美術、陸上競技、映画制作)

(4) 進路指導

項目	平成29年度目標値	平成29年度実績
進路決定率	94%以上	94.8%
大学・短大進学率	60%以上	46%

(5) 募集・広報活動

項目	平成29年度目標値	平成29年度実績
学校見学会・学校説明会・個別相談会の参加者	2000名以上	2462名
文化祭来場者	2500名以上	2423名
中学校・学習塾への学校説明訪問	100校以上	81校
ホームページ更新	150回以上	300回
推薦に基づく入学選抜応募倍率	2.8倍以上	2.19倍
学力に基づく入学選抜応募倍率	1.6倍以上	1.29倍

(6) 経営企画室の経営

項目	平成29年度目標値	平成29年度実績
第3四半期、予算執行率	75%以上	90%
センター執行率	45%以上	50%

【総合評価 B】

※ 自己評価について

自己評価【A】： 目標を高度に達成した

自己評価【B】： 目標を概ね達成した

自己評価【C】： 目標達成までもう一步であった

自己評価【D】： 目標をほとんど達成できなかった